

神皇正統記

○天津祝詞

高天原爾神留坐須神魯岐神魯

美乃命以氏皇御祖神伊邪那岐

命筑紫乃日向能橘乃小戸乃阿

波岐原爾御禊祓比給布時爾生

長司

二

坐留被戸乃大神等諸乃枉事罪
ませるをひどののあやしくちかひのすがとつ
穢乎拂比賜幣清米賜閑登申須
とちひひ下へきよめたまへとまを
事能由乎天津神國津神八百萬
ことよまをあまつうまのや
乃神等共爾天之斑馬能耳振立
のかみともよのあまのふらまのみくあつたて
氏聞食世登恐美恐美白須
てききめせとくこととまを



大祓詞

高天原爾神留坐皇親神漏岐
たかまの原のあまのかみつまるすまみらむろぎ
神漏美乃命以氏八百萬神等
かみろみのとちてや
乎神集集賜比神議議賜氏我
をかむつとへつたまひくむらりたまひてあが
皇御孫之命波豐葦原乃水穗
すまのまのきとハあはらのみづほ

之國乎。安國止乎。久所知食止。
 事依奉岐。如此依志奉志國中。
 爾荒振神等乎。波神問志爾問。
 志賜神掃爾掃賜。比氏語問志。
 磐根樹立。草之垣葉乎。毛語止。

氏天之磐座放天之八重雲乎。
 伊頭乃千別爾千別氏。天降依。
 左志奉支。如此久依左志奉志。
 四方之國中登大倭日高見之。
 國乎。安國止定奉氏。下津磐根。

爾宮柱太敷立高天原爾千木
 高知氏皇御孫之命乃美頭乃
 御舍仕奉氏天之御陰日之御
 陰止隱坐氏安國止平氣久所
 知食武國中爾成出武天之益

人等我過犯家牟雜雜罪事波
 天津罪止畔放溝埋樋放頻時
 串刺生剥逆剥尿戸許許太久
 乃罪乎天津罪止法別氣氏國
 津罪止八生膚斷死膚斷白人

胡久美己母犯罪己子犯罪母

與子犯罪子與母犯罪畜犯罪

昆虫乃災高津神乃災高津鳥

乃災畜仆志 蠱物為罪許許太

久乃罪出武如此出波天津宮

事以豆大 中臣天津金木乎本

打切末打斷氏十座置座爾置

足波志氏天津管曾乎本打斷

末打切氏八針爾取辟氏天津

祝詞乃太祝詞事乎宣禮如此

ト 友 司

久乃良波天津神波天磐門乎
 推披氏天之八重雲乎伊頭乃
 千別爾千別氏所聞食武國津
 神波高山之末短山之末爾上
 坐氏高山之伊穗理短山之伊

穗理乎搔別氏所聞食武如此
 所聞食氏波皇御孫之命乃朝
 廷乎始氏天下四方國爾波罪
 止云布罪波不在止科戸之風
 乃天之八重雲乎吹放事之如

久朝之御霧夕之御霧乎朝風

夕風乃吹掃事之如久大津邊

爾居大船乎舳解放艦解放氏

大海原爾押放事之如久彼方

之繁木本乎燒鎌乃敏鎌以氏

打掃事之如久遺罪波不在止

祓給比清給事乎高山末短山

之末與理佐久那太理爾落多

支都速川能瀨坐須瀨織津比

咩止云神大海原爾持出奈武

如此持出往波荒鹽之鹽乃八
 百道乃八鹽道之鹽乃八百會
 爾座須速開都比咩止云神持
 可可吞氏武如此久可可吞氏
 波氣吹戶坐須氣吹戶主止云

神根國底之國爾氣吹放氏牟
 如此久氣吹放氏波根國底之
 國爾坐速佐須良比咩登云神
 持佐須良比失氏牟如此久失
 氏波天皇我朝廷爾仕奉留官

司

官人等乎始つうごのひとども天下四方あめのしたよも爾波なみ

自今日始けふより罪止つと云布罪波ふつゑ不あら

在止と被給比たひひ清給事乎きよあつと聞食きこ止と

白須ましろ

大被詞終

明治十八年八月十日出版御届

全 年八月 刻成 定價三錢八厘

京都府平民

編輯兼出版人 本林島正直

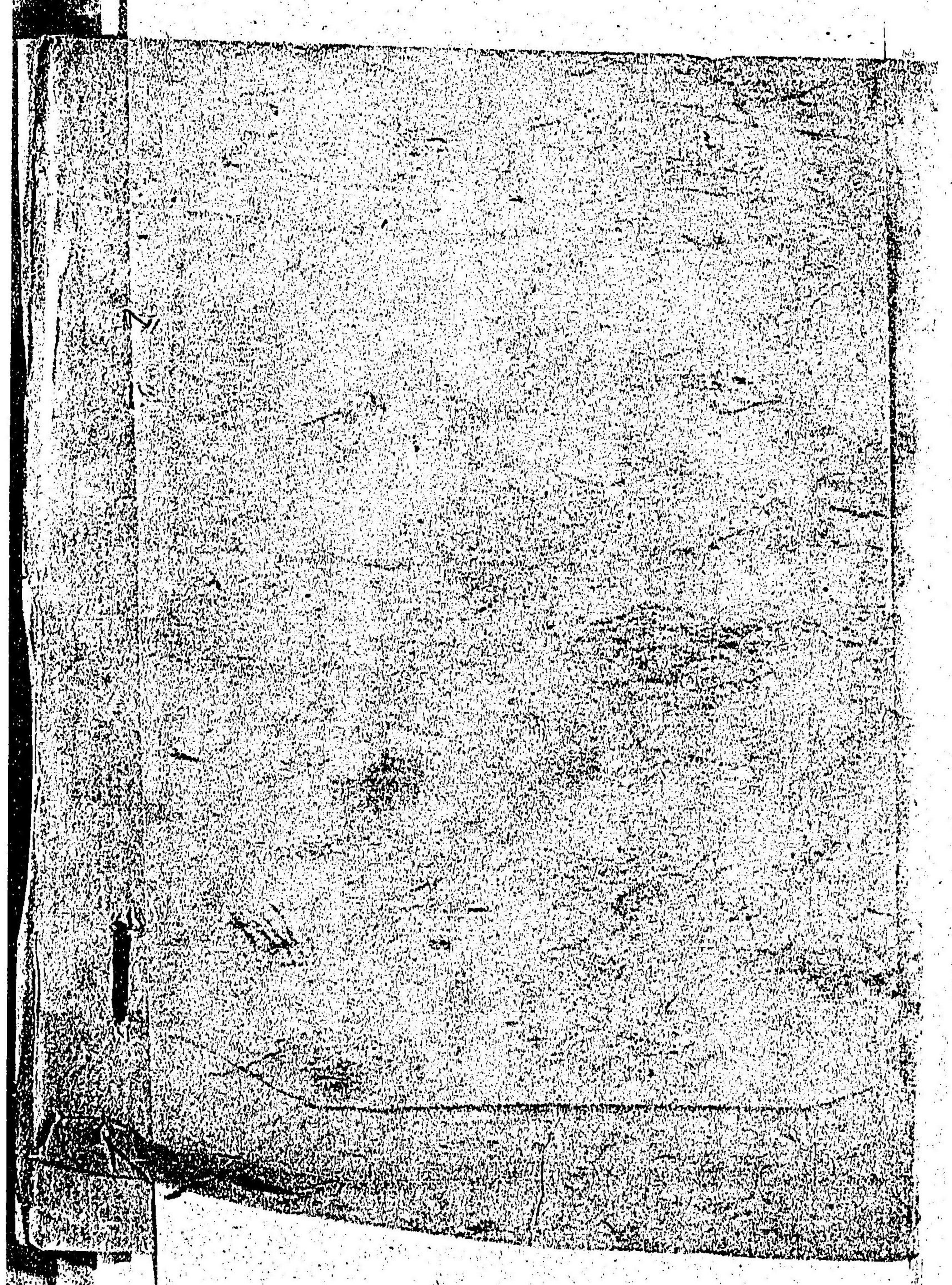
下京區第拾二組因幡堂町 七拾三番戸

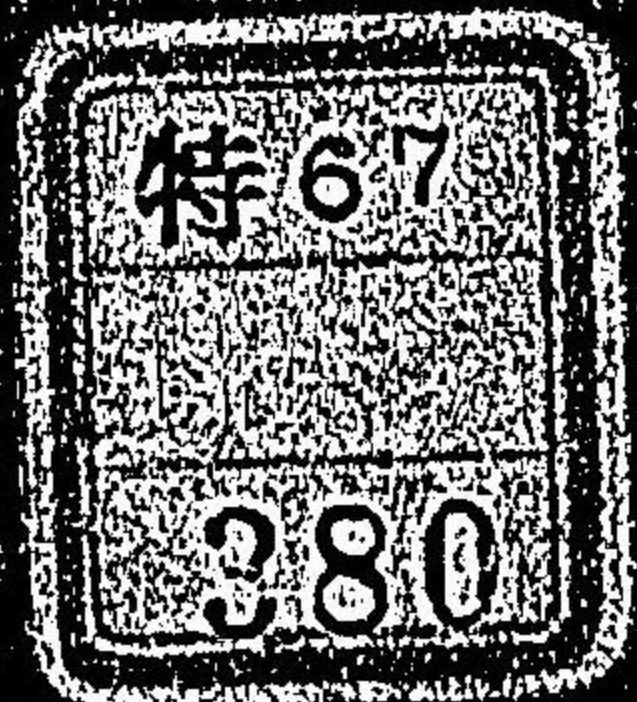
京都府平民

百々房吉

上京區第廿九組龜甲屋町 八番戸

弘 通





013800-000-5

特67-380

天津祝詞大祓詞

森島 正直 / 編

M18

ABB-0009

